

2026年10月以降の日本学術会議の概要

1. 目的・使命：

- 我が国の科学者の内外に対する代表機関・・・ナショナルアカデミー
- 学術の向上発達を図るとともに、学術に関する知見を活用して社会の課題の解決に寄与
- 人類社会の持続的な発展及び国民の福祉の向上に貢献

※（）は現行の制度

2. 組織形態：

国が設立する法人（内閣府の機関）

※内部の詳細な組織については日本学術会議において制度設計

3. 会員：

- 250名・任期6年（1回に限り再任可）・定年75歳（210名・任期6年・定年70歳）
- 日本学術会議において選任（内閣総理大臣任命）

※連携会員・外国人会員については日本学術会議において検討

4. 財務：

政府による必要と認める金額の補助（国庫負担）

※外部資金の獲得については日本学術会議において検討

5. ガバナンス：

- 中期的な活動計画・年度計画の策定と自己点検評価の実施
- 監事、運営助言委員会の設置、国に日本学術会議評価委員会の設置

